

フレッシュ



T・Kashiwabara

熊商の3年連続IH
団体優勝に貢献した

かしわばらてつろう
柏原哲郎選手

(埼玉・熊谷商高3年, 高校ランク5位)

(右、シェーク、両面高弾性裏ソフトラバー使用、ドライブ主戦型)

ピンキチの両親に恵まれ、中学卓球界の伝統校である野木中学から、本校に入学。持ちまえの根性で、2年生の時より正選手となり、インターハイ連続優勝、全国選抜大会優勝等々に大きく貢献した。

特に、石川インターハイ準決勝・対桜丘高(愛知)戦で松下浩二選手のカットを見事に打ち抜き、本校の決勝戦進出を決定づける貴重な得点をあげた。また、決勝戦では優勝を決定づける決勝点を上げるなど、非常に勝負強い選手で、本校にインターハイ3年連続7度目の団体優勝をもたらしてくれた。

今後は、より一層ネットプレーの強化と、バックハンドの強化、パワーアップをはかりぜひとも大成してほしい。

⑩ ガンバレ哲郎! 期待しているぞ。(熊谷商高監督・吉田安夫、写真右)

